

## 徳島県企業局経営計画における「行動計画」の 平成27年度進捗状況及び評価について

### 1 徳島県企業局経営計画の推進方策

- ・平成25年度を初年度とする4年間の「企業局経営計画」について、計画的に事業を実施し、効果的・効率的な事業の推進を図るため、PDCAサイクルによる進行管理を実施
- ・平成27年度の進捗状況について、「企業局戦略会議」で評価し、外部有識者による「戦略的経営推進委員会」に報告、意見を聴取
- ・進捗状況及び評価の結果を、企業局ホームページで公表

### 2 行動計画の達成状況別取組数

取組数	進捗状況			
	A 順調または妥当	B 概ね順調または概ね妥当	C 要努力	D 要見直し
62	52(84%)	7(11%)	3(5%)	0(0%)

主なもの（再掲分を除く）

経営戦略I 県民・企業ニーズ、経営環境の把握と的確な対応				
A	・駐車場利用者等のニーズ調査 ・ホームページの充実 ・見学会、学習ひろばの実施	目標（毎年）：200人 「企業局SNS」を開設	→	<u>②71,141人</u>
B	・町が進める森づくりを支援	目標（毎年）：500人 目標（28年度末）：450ha	→	<u>②7965人</u> <u>②7322ha</u>
C	・技術職員の本局管理部門への積極的配置	※事業好調により、目標値を拡大したため（225→450ha） 目標（28年度末）：累計40人	→	<u>②7累計37人</u>

### 経営戦略II 企業局の持つ資源の活用と強化

A	・建築物及び土木構造物の耐震化（48施設） 耐震化率	目標（28年度末）：9割→ <u>②7までに44施設着手（9割）</u> 【②42施設完了見込 42/48=9割】
	・駐車場の他施設等との連携 駐車場利用台数	目標（28年度末）：24年度比105% → <u>②7105.4%</u>

### 経営戦略III コスト縮減と資金の戦略的活用

A	・トータルコストを考慮した効率的設計	目標（28年度末）：工事コスト縮減 → <u>②7工事コストを36百万円削減</u> 「阿南工業用水道管路布設工事」において、関係機関との調整により断水工法を採用
---	--------------------	---

### 経営戦略IV 新しい価値創造への挑戦

A	・新エネルギーの動向調査 新エネルギー設備の導入件数	目標（28年度末）：累計8件 → <u>②7累計8件</u>
---	-------------------------------	--------------------------------

### 経営戦略V 危機管理対応力の強化

A	・災害時の応援協定の拡充 応援協定の締結	目標（28年度末）：累計5件 → <u>②72件総 累計5件</u>
---	-------------------------	------------------------------------

### 3 行動計画の概要と進捗状況の評価

取組事項	項目数	評価			
		A	B	C	D
<b>経営戦略Ⅰ 県民・企業ニーズ、経営環境の把握と的確な対応</b>					
① 情報収集の強化	6	5	1	0	0
② 積極的な広報活動	6	4	2	0	0
③ 新たな発想を生み出す人と組織づくり	5	4	0	1	0
④ 社会貢献の推進	5	4	1	0	0
<b>経営戦略Ⅱ 企業局の持つ資源の活用と強化</b>					
⑤ 南海トラフ巨大地震対策、老朽化対策	4	4	0	0	0
⑥ 適正な施設の維持管理	5	4	0	1	0
⑦ 経営資源の有効活用	9	8	0	1	0
⑧ 資産の他用途活用	3	3	0	0	0
再掲③ 新たな発想を生み出す人と組織づくり	(5)	(4)	(0)	(1)	(0)
再掲④ 社会貢献の推進	(5)	(3)	(2)	(0)	(0)
<b>経営戦略Ⅲ コスト縮減と資金の戦略的活用</b>					
⑨ 工事費、維持管理費等のコスト削減	5	5	0	0	0
⑩ 資金の効率的運用	2	2	0	0	0
再掲④ 社会貢献の推進	(5)	(3)	(2)	(0)	(0)
再掲⑦ 経営資源の有効活用	(9)	(8)	(0)	(1)	(0)
<b>経営戦略Ⅳ 新しい価値創造への挑戦</b>					
⑪ 新規事業への取組	4	3	1	0	0
再掲③ 新たな発想を生み出す人と組織づくり	(5)	(4)	(0)	(1)	(0)
<b>経営戦略Ⅴ 危機管理対応力の強化</b>					
⑫ 危機管理体制の強化	8	6	2	0	0
計 (再掲を除く)	62	52	7	3	0

### 4 戰略的経営推進委員会での主な意見 (平成28年7月20日開催)

- ・企業や利用者のニーズ調査を実施し、結果をいかに活かしていくかが重要
- ・安定供給のため、施設の適正な維持管理の継続が必要